

## 平成30年度 第2回伊勢原市地域公共交通協議会 会議録

- 〔事務局〕 都市部都市政策課
- 〔開催日時〕 平成31年2月6日（水） 午前10時から11時まで
- 〔開催場所〕 伊勢原市役所本庁舎3階 全員協議会室
- 〔出席者〕
- （委員） 藤井会長、武山副会長、小堤委員、秋元委員、小池委員、後藤委員、小川委員、飯田委員、宮川委員、藤田委員
- （代理出席） 齋藤委員（代理：鈴木委員）、立山委員（代理：土井委員）、宮本委員（代理：島崎委員）、岩田委員（代理：水川委員）、仁藤委員（代理：溝呂木委員）、目黒委員（代理：市川委員）、星名委員（代理：福島委員）
- （小松委員、菊本委員は欠席）
- （事務局） 重田都市部長、飯田参事兼課長、佐野主幹兼係長 他1名
- 〔公開の可否〕 公開
- 〔傍聴者〕 0名

### 《会議経過》

- 1 開 会
- 2 あいさつ（藤井会長、武山副会長）
- 3 委員紹介
- 4 議 題
  - （1）平成30年度事業報告について
  - （2）地域公共交通網形成計画の進行管理について
- 5 そ の 他
- 6 閉 会

《 議 事 》

会 長 それでは、次第に従い、議事を進めます。

本日の議題は、

(1) 平成30年度事業報告について

(2) 地域公共交通網形成計画の進行管理について

2点となっています。

事務局から内容の説明を行い、その後、委員の皆様の御意見等をお聴きしていきたいと存じますのでよろしくお願いいたします。

それでは、

議題の(1)平成30年度事業報告について

事務局から説明をお願いします。

事 務 局

【説 明】

会 長 ありがとうございます。昨年5月に公表した地域公共交通網形成計画の5箇年計画の初年度の事業報告でした。

この案件につきまして、御質問等ございましたらお願いします。

委 員 伊勢原駅北口の先行取得した都市計画道路用地を暫定的にバス乗降場及びタクシー待機場として利用することは理解しますが、駅前再開発の青写真があるのか、また、それを踏まえて、このような暫定的な処置が取られているのか、お聞きしたいと思います。

会 長 将来計画を踏まえたうえで公共交通環境の改善を図る一つ的手段として、先行取得用地を活用したということでしたが、事務局、いかがでしょうか。

事 務 局 今回御報告させて頂いた内容は、都市計画道路伊勢原駅前線の先行取得用地について、道路が整備されるまでの間、バス乗降場及びタクシー待機場として有効活用するものです。

委員 暫定利用されている都市計画道路の用地と周辺のまちづくりとの兼ね合いはどうなってくるのでしょうか。

事務局 用地買収と並行して、地権者などの関係者とまちづくりの方向性について議論しているところです。検討段階であるため、まちづくりの姿をお示しできる段階ではないと聞いていますが、引き続き議論を進めていきます。なお、今回の暫定利用は、こうした計画を進める上で支障になることはないと認識しています。

委員 青写真を作っている段階で、確定したものはないということですね。地元の人たちの代表などを含めて論議されているとは思いますが、住民を巻き込んだまちづくり、開発をこれからもお願いします。

会長 その他、ご意見等はございませんか。

委員 駅前には、一般車両の送迎が非常に多いですが、待機場等について、今の段階ではどのように考えていますか。

事務局 バス乗降場・タクシー待機場の暫定利用に合わせて、現時点において、一般車両の待機場を整備する予定はありません。

しかし、バス乗降場・タクシー待機場が整備されたことによって、駅前における交通の整流化が図られ、以前より、一般車両のアクセスがスムーズになったものと考えています。

会長 地方都市のベッドタウンでは、駅前に自家用車の送迎場所が整備されていることが多いですが、公共交通を利用してもらうためには、一般車両に一定の制約をかけるという施策も考えられます。しかし、制約をかけすぎることも良くないので、そのバランスをどう考えるかが重要です。

公共交通の利用を促進していく中であっては、公共交通を利用しやすい仕組みを駅前で展開する等、地域全体で公共交通を利用していく意識を高めしていく必要があります。こうした考え方が、この地域公共交通網形成計画における利用促進の基礎として芽生えていくと良いと思います。

その他、ご意見等はございませんか。

委員 今後、駅前広場の用地買収を考えている面積の見通しをお聞かせください。

事務局 現在は、バス乗降場として約1,000平米、タクシー待機場として約350平米を先行買収して、暫定利用させていただいていますが、これ以降の先行買収の予定は、今のところありません。  
駅前広場の整備に際しましては、都市計画決定している周辺まちづくりも含めた約1.4ヘクタールの区域内で整備手法を検討し、事業を進めていくこととなります。

会長 その他、ご意見等はございませんか。

委員 8台導入する予定だった福祉タクシーが1台になった理由を、もう一度確認させてください。

事務局 タクシー車両の更新時期に合わせて、順次、ユニバーサルデザイン車両を導入する予定でしたが、タクシー車両の更新サイクルを改めて見直した結果、1台の導入となりました。来年度は8台の導入計画があると聞いています。

委員 ユニバーサルデザイン車両については、来年度に合計8台の予算を組んでいますので、予定通り導入していきたいと思います。  
また、駅前のバス乗降場・タクシー待機場については、整備により使いやすくなりました。ありがとうございました。  
定額タクシーの件については、全体で6名、伊勢原市民が2名ということで、短期間でPR不足ということから、利用者が少なくなっています。なお、再度、運輸局の許可を得て、1月21日から2月28日までの期間で定額タクシーの実証運行を行っています。

会長 その他、ご意見等はございませんか。

委員 伊勢原営業所のタクシー車両の台数は増えますか。

委員 伊勢原で稼働するタクシー車両は13台で、その稼働台数自体は増えませんが、3月に上粕屋に営業所ができることで、運行回数は増加すると思います。

委員 以前は、駅前にタクシーが待っていることがあったのですが、最近はタクシーが待っていることが少ないので、ドライバーの人数やタクシーの台数が減っているのではないかと思いました。

委員 現在は、携帯のアプリが進んでいるため、駅前にタクシーが待機する時間が減る傾向があります。今後もお客様を待たせないよう、できる限り配慮していきます。

会長 その他、ご意見等はございませんか。

委員 定額タクシーについて、目的の中に免許返納促進とありますが、利用者6名の中で、これを機会に免許を返納された方がいますか。

事務局 利用者数については把握していますが、期間限定での実証運行であるため、免許返納促進の効果については確認できていません。

委員 交通安全のため、免許返納を促進するという考え方がありますが、例えば、警察署に免許を返納された際に、こうした取組をPRしていただくことで、バスの利用などにも相乗効果があると思います。

事務局 各公共交通事業者と今後も連携をとりながら、本協議会を通じて、取組の検討を進めていきたいと考えています。

会長 免許返納を機会に公共交通の利用促進の仕組みを検討する自治体が多くありますが、地方都市の公共交通の整備状況では、難しい現状があります。公共交通が整備されている場合には返納がスムーズに行きますが、80歳過ぎになっても免許を保持し続けると生活できない地域の場合、そうした仕組みを展開していくことができません。

千葉県君津市では、免許返納の際に、公共交通の利用に関する制度を警察

が紹介する仕組みがあり、自治体と一緒に取組んでいます。また、鉄道の割引サービスは、多く実施されています。

こうした検討は、委員の皆様が集まる地域公共交通協議会の場での調整が進めやすいと思いますので、よろしくをお願いします。

会長 その他、ご意見等はございませんか。

委員 伊勢原駅北口の暫定広場に関しましては、今まで手狭な空間の中で、伊勢原市民の皆様にご迷惑をおかけしながら運用してきた実態がありました。ここで暫定バス乗降場を整備して頂き、敷地内でバスの転回が可能となったため、安全面からご迷惑をかけずに運用できていると思います。

また、バスの乗り方教室においては、バスの利用方法の周知だけではなく、小さなお子さんにバスを身近に感じてもらい、バスの危険な部分も含めて興味を持ってもらうという面で、こうした取組が非常に効果的であると感じています。これからもご協力をいただきながら実施していきたいと考えています。

最後に、公共交通情報冊子を作成して頂き、ありがとうございます。

この中で、鉄道、バス、タクシーの利用促進ということでいろいろな情報を掲載していただいています。バスロケーションシステムでは、バスがいつ来るかを調べられるようにはなっていますが、高齢者のことを考えると、これで良いとは思っていません。

例えば、伊勢原駅では、北口と南口に分かれていて、駅の改札を出た時にどちらの方向のバスで行けばいいかわからないという状況の中で、バスの利用促進として、例えば、改札の出口付近に、デジタルで表示するサイネージを設置することなど、協議会の中で議論していきたいと考えています。

会長 公共交通を推進する考え方として、「M a a S」があります。聞き慣れないかもしれませんが、スマートフォン一つ持っていれば、鉄道、バス、タクシー、それから、ホテルの宿泊の支払い決済まで、全ての乗り継ぎが可能となる仕組みがフィンランドのほうでかなりつくられてきています。日本でも、いろいろなところで実証実験が行われています。

例えば、下田では、「観光M a a S」というかたちで実証が行われます。こうした、観光がキーワードなのか、生活なのか、情報をどう伝えるかが重要な側面になっています。こうしたことを念頭に置きながら、全体計画の中で少しずつ考えていただければと思います。

その他、ご意見等はございますか。

特にないようですので、議題（１）平成30年度事業報告については、終了とします。

会 長 続いて、

議題の（２）地域公共交通網形成計画の進行管理について事務局から説明をお願いします。

事 務 局

【説 明】

会 長 ありがとうございます。

地域公共交通網形成計画の進捗状況と評価指標、また、それを踏まえた、次年度の取組方針が示されました。

4つの実施計画に対して、「A」評価が3つ、「B」評価が1つとして評価がされました。

この案件につきまして、御質問等ございましたらお願いします。

特にないようですので、議題（２）地域公共交通網形成計画の進行管理について、承認されたことといたします。

会 長 以上をもちまして、本日の議事は終了とさせていただきます。